

平成 23 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ

平成 23 年度論文賞選考委員会 担当理事 川平 和美

委員長 橋本 圭司

委員 青柳陽一郎, 伊佐地 隆, 荏原実千代

鈴木 康司, 馬場 尊, 原 寛美

原 行弘, 馬庭 壯吉, 渡邊 修

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり, 論文賞選考内規(学会誌 38 巻 211 頁, 2001 年)に基づいて, 毎年論文賞選考委員会を発足させ, 選考作業を行っております。

平成 22 年中の対象論文 12 編(原著 9 編, 短報 3 編)に対し, 各選考委員がテーマの独創性・重要性, 研究・デザイン, データの提示, データの解釈, 論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し, 採点結果を集計いたしました。平成 24 年 2 月 17 日に論文賞選考委員会を開催し, 最優秀論文賞, 優秀論文賞および奨励論文賞の各賞を選考しました。

選考結果は理事会に報告され, 承認を受けた上で, 平成 24 年 5 月 31 日の日本リハビリテーション医学会会員への報告会の場で, 理事長から受賞者に賞状ならびに目録が授与されました。受賞論文を下記にご報告いたします。

優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心からお礼申し上げます。公平な選考が行われたことをご報告いたしますとともに, 是非, 多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき, リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう, お願い申し上げます。

◎最優秀論文賞: 竹内 直行 氏

竹内直行, 生駒一憲: 脳卒中患者に対する健側運動野への低頻度反復経頭蓋磁気刺激が両側運動および運動関連領域皮質間連絡に与える影響. Jpn J Rehabil Med 2011; 48: 341-351

◎優秀論文賞: 木佐 俊郎 氏

木佐俊郎, 酒井康生, 三谷俊史, 小野恵司: 回復期脳卒中片麻痺患者のリハビリテーションに促通反復療法を取り入れた場合の片麻痺と日常生活活動への効果—無作為化比較対照試験による検討—. Jpn J Rehabil Med 2011; 48: 709-716

◎奨励論文賞: 當山 峰道 氏

當山峰道, 大高洋平, 荒木康智, 數田俊成, 近藤国嗣, 里宇明元: 脳卒中患者における自覚的視性垂直位と静止立位時バランスとの関連. Jpn J Rehabil Med 2011; 48: 263-269

◎優秀論文賞次点: 高橋 光彦 氏

高橋光彦, 高田信二郎, 安井夏生, Samuel R WARD, Richard L LIEBER: 腱移行手術は筋, 筋線維束, 筋線維の受動張力を増加させる. Jpn J Rehabil Med 2011; 48: 129-133

◎奨励論文賞次点: 川上 途行 氏

川上途行, 里宇明元, 和田彩子, 堀江温子, 大塚友吉: 脳卒中回復期患者経口摂取例における安静時エネルギー消費量. Jpn J Rehabil Med 2011; 48: 623-627